

# 簡易事後評価

## 事業効果（波及効果等）の発現状況

- A A A評価とした事業のうち、特に今後の模範となるもの。
- A 事業の直接的効果以外に、関連する事業、ソフト事業などとの連携を図ることで、波及効果を発現しており、地域の社会、経済活動に貢献している。
- B 事業の直接的効果を発現している。
- C 事業の直接的効果は概ね認められる。
- D 事業の直接的効果が認められない。（効果発現が見込めない、追加の対応が必要）

## 環境への影響

- 1 生活環境：「気象、大気質、騒音、振動、悪臭、日照、風害、水象、水質、水底の底質、土壌、地盤の状況等」
  - A A A評価とした事業のうち、特に今後の模範となるもの。
  - A 事業を実施したことで、環境がよくなった。
  - B 環境への影響は発生していない。
  - C 環境への影響は多少認められる。
  - D 環境への影響が大きく何らかの対応が必要。
- 2 自然環境：「海、河川（形態、流況等）、湖沼、地下水、地形及び地質、植物、動物、生物生態系等」
  - A A A評価とした事業のうち、特に今後の模範となるもの。
  - A 事業を実施したことで、環境がよくなった。
  - B 環境への影響は発生していない。
  - C 環境への影響は多少認められる。
  - D 環境への影響が大きく何らかの対応が必要。
- 3 社会文化環境：「景観、文化財、地域社会（地域分断、レクリエーション、交通混雑、交通事故等）等」
  - A A A評価とした事業のうち、特に今後の模範となるもの。
  - A 事業を実施したことで、環境がよくなった。
  - B 環境への影響は発生していない。
  - C 環境への影響は多少認められる。
  - D 環境への影響が大きく何らかの対応が必要。

## 施設の維持管理状況

- A A A評価とした事業のうち、特に今後の模範となるもの。

- A 維持管理主体及び市民、受益者団体等（県民協働の取組）が参加して、適切な維持管理が行われている。
- B 維持管理主体により適切な維持管理が行われている。
- C 維持管理、補修等が概ね行われている。
- D 適切な維持管理が行われていない。（維持管理計画、体制等の見直しが必要）

#### 地域住民等との関わり（県民の意見）

- A A A 評価とした事業のうち、特に今後の模範となるもの。
- A 事業の目的（効果）発現のため、事業の計画段階から地域住民との連携が図られ、施設の利活用が積極的に行われている。
- B 事業の目的（効果）が地域住民に理解され、利活用されている。
- C 事業の目的（効果）が概ね地域住民に理解され受け入れられている。
- D 事業の目的（効果）が地域住民に理解されず、改善要望、苦情が絶えない。

#### 改善措置の必要性

- A A ~ すべての項目においてB以上かつ、いずれかにおいてA Aがある。
- A ~ すべての項目においてB以上かつ、いずれかにおいてAがある。
- B 現在のところ改善の必要はない。
- C 将来的には改善の余地がある。
- D 緊急に改善する必要がある。